

福祉新聞
WELFARE NEWS
복지신문

VOL

138

社会福祉情報・活動情報誌「きれい」

伊勢亀鈴会

ウェブ検索

きれい

音楽療法の

科学的アプローチを

目指して

東京都立産業技術大学院大学

特任教授

佐藤 正之さん

白金青い池

撮影 南勢就労支援センター 久米通信員



秋田「田沢湖」

田沢湖は水深 423.4 メートルの日本一深い湖。深い湖水に差し込んだ太陽光が瑠璃色に彩る美しい湖面と、たつこ姫伝説で知られ、日本百景にも選ばれている。

目次

■巻頭インタビュー ————— 1

音楽療法の科学的アプローチを目指して

東京都立産業技術大学院大学

特任教授 佐藤 正之 さん

■なかま ————— 5

連 鶴

きれいサポートステーション 井上 果穂 さん

■道のり ————— 6

お弁当屋潮音

～南勢地区で一番有名なお弁当屋さんを目指して…～

■ハートフルリレー ————— 7

利用者と共に楽しめる場を目指して

八野就労支援センター 中西 智彦

■春夏秋冬 ————— 8

行事・クラブ・活動紹介

■きれいトピックス ————— 16

津会館内展示スペースリニューアル
全国へ届け

～八野就労支援センター
不織布ウエス新商品販売～

■きれいかいの動き ————— 表3

新職員・人事異動他

表紙写真

白金青い池

「白金青い池」は美瑛川に設置された堰堤に、川の水が滞留して出来た人造池で自然の不思議な力で青色になっている。

音楽療法の科学的アプローチを 目指して

佐藤 正之

来歴

1963年大阪生まれ。
86年に相愛大学音楽学部器楽科卒業後、音楽教諭を経て、2002年三重大学大学院医学研究科博士課程卒業。神経内科専門医、認知症専門医。現在は、東京都立産業技術大学院大学特任教授。音楽療法はどれだけ有効か、科学的根拠を検証する(化学同人、2017)を始め、多くの著作があり、音楽療法への科学的アプローチの普及に尽力されている。



今回は、音楽療法専門家の佐藤正之先生にお話を伺います。佐藤先生には今年度より、きれいな会の音楽療法の指導をお願いしております。インタビューは八野生活介護センターの木村です。

Q1. 音楽療法の道に入られたのはどういった経緯からですか？

佐藤教授：私は医学部に入る前に音楽大学を卒業してしますので、音楽に関しては、関心もあれば、基本的な技能も持っていました。神経内科医になったのは、高次脳機能について、関心があったからです。美しいものを美しいと感じたり、なにもないところから創作したりとか、そういうもののメカニズムを科学的に研究したいと思って神経内科医になり、神経心理学を専門にしました。

東京都立産業技術大学院大学

特任教授

佐藤 正之さん



当然、臨床家ですから、患者さんの症状を観察したりすると、「これは、音楽でトレーニングができるんじゃないか」とか思うようになります。文献を調べてみると、実際にそういう先行研究がいくつかありました。まずは、音楽が、脳にどのような作用を及ぼしているのか、そういったバックボーンとなることを研究しようと思いました。つまり、自分の専門領域である神経心理学で、他の研究者から信頼されるような業績と成果をきちんとあげようと。それで、神経心理学一般を研究した後に、患者さんへの応用である音楽療法に取り組み準備が整ったと感じ始めたの

がこの7、8年くらいですね。音楽大学のころから言っと、30年間かけて、ようやく実際の患者さんにセラピーを行うという環境が整ったというところになります。

Q2. 音楽が脳に入ってくるってというのは、どういう風に捉えたらいいのでしょうか。

佐藤教授：それは大事なところで、研究が世界で進みつつあるところです。明らかになっているのは、音楽を聴くことで、音楽がもっている構造、言語でいうと文法にあたるところですけれども、それを知覚・認知する面。それから当然ながら、音楽によって生み出される情動。さらには、その情動の変化にもなると引き起こされる自律神経の反応。音楽を聴くとどういふことは、これら3つの脳内過程が引き起こされるといふことなのです。

私は神経学者なので、脳の解剖学的な部位とそれが担っている機能というのを関係付けて考察していくというのが、主なアプローチ法です。ここで、音楽を聴いたときに、音を聞く領域である聴覚野が活動するのは当然です。それ以外に、ちよつと専門的ですが、島という領域が聞いた音楽と情動、さらには、自律神経の反応を結び付けるのに重要な役割を果たしているのが、我々がこの5、6年の間の研究で明らかにしたことです。

Q3. 音楽療法の醍醐味は何でしょうか。

佐藤教授：患者さんが、セラピーあるいはトレーニングということを意識せずに出来るというのは、利点の一つだと思います。例えば、認知症と診断された患者さんの熱心なご家族が、少しでも進行を抑制できたらという思いから、ドリルとかを患者さんに勧められたりするわけですね。それはそれで、有効だという報告はあるのですが、患者さんによっては自尊心が傷つけられることもある。私の経験でも、60代半ばで、社会的にも重要なポストにあった方が、小学校低学年が行つような計算問題をやらなければならぬ。本人が抵抗感なしにされている場合は良いのですが、嫌がるのを半ば無理にさせるとなると、勧めている方に悪意はないにせよ、患者一族関係を壊しかねず、そうなることを避けて一利なしというところになってしまふ。

このようなことが、音楽療法に関しては起こりにくい。もちろん、音楽嫌とかの方には他のセラピーを用いなければいけないけれども、音楽に特に興味がないという方でも、割と抵抗なくセッションに入っていただけ。これは音楽療法の特徴かなと思いますね。

Q4. 音楽療法をされていて苦労をされたことについて、伺いたいと思います。

佐藤教授：やはり従来から言われていることですが、音楽療法士というのは学会資格で、資格をとった時点では、医学的な知識や経験、技能が不足しています。ですから、

そういうのはデータをとる以前の問題で、取り組む姿勢自体がなっていない。それに比べたら、音楽療法は、自らが行うことについて真摯に向き合おうとしていると思います。エビデンスをこれから作っていくという姿勢が、音楽療法の世界で、主流を占めているとまでは言わないまでも、一定の意見として存在している。これは、音楽療法の未来にとっていいことかなと思います。

Q6. セラピストというのは、何をやる人なのか、あるいはその心得について、どう思われますか。

佐藤教授：「自ら行っている方法について責任を持ち、行った結果について絶えず検証をし、その検証した結果をもって自らの行う方法を絶えず改善している人」。これが私のセラピストの定義です。例えば、理学療法士さんは、麻痺の患者さん一人を対象にする際に、個々の患者さんの症状や訓練意欲、生活上の問題、あるいは認知機能面の障害といったことも全部踏まえて、訓練の方向や強度を決めています。そして、実際うまくいったかを検証しながら、アプローチの方法をより良いものに変えています。これは、医療者として患者に対する際に当たり前の話です。これを行っている人が、プロフェッショナルとしてのセラピストだと思うのですね。

だから、それを行わない人っていうのは、それはセラピストではない。レクリエーションで、それはそれでいいのです。レクリエーションとして行う限りは、でも少なくとも、自分が行っていることがセラピーでないことだけは自覚しておかなければならない。

いいものは現場でも残っていきます。そうでないものは、淘汰されていく。高度成長期の時のように、色々な取り組みにお金を払える病院・施設は今日日本ではほぼありません。できるだけ出費を切り詰める言い換えると、本当に効果のあるもの以外は、淘汰の対象になっていく。これはもう自明のことです。

そのような中で、私は音楽療法は患者さんにも、ご家族にも、さらには提供する方にもメリットがあると思っており、実際に経験もしてきています。そういった淘汰の対象から残していくためには、音楽療法士が先程申し上げた定義にあてはまるセラピストであることが、必要条件だと思います。

Q7. 最後に、きれいな会を利用される方々にメッセージをお願いします。

佐藤教授：私の専門の認知症に限っていても、あるいは他の症状・病気でも、これが何々に効くという宣伝が、新聞、週刊誌、テレビ、ラジオ等であふれています。その中

で、本当に効果が検証されているものは、ごくごく一握りです。多くのものは、毒にも薬にもならない。心身にデメリットを生じかないものも、反対に効果のあるものもあります。それについて、お金を使う側が、嗅覚を鋭くしていかないといけない。そして患者さんに提供する側は、提供者の好みや興味ではなくて、有効性から見て正しいものを提供しなければなりません。

今回私が関わりを持たせていただいているきれいな会の施設等々は、トップから現場の人にとるまで、全体が真摯にそれを行っていくという姿勢がいきわたっているように感じています。実はそういった施設というのは、決して多くない。言い換えると、こちらの施設をご利用されている方々は、非常に恵まれた環境の中で、お過ごしになられていると、私は思います。

最後に、有効性を確認しつつ、方法をより良いものにしていく作業は、現場のスタッフや我々研究者だけでなく、利用されている方、ご家族の方も含めた、全体の共同作業で成り立っていくものだということを、申し上げたいと思います。

先生に関わっていただく形で音楽療法がスタートしていますけれども、関係者の皆さん、先生、そして利用者さん含め、大きな枠組みで、良いものに出たらと思います。ありがとうございました。



ながま 連鶴

私たちが住む三重県には古くから物作りの町としての歴史があります。桑名の千羽鶴もその中の一つで、サポートステーションでは折り鶴を葬儀の際にお棺に入れることもあり、日々折り鶴を折っています。

その中でも連鶴を折るのが趣味な井上果穂さん。小さな鶴が一つ一つ羽根で繋がっており、全部でなんと64羽。これは小さな鶴を折った後に繋げるのではなく、全て繋がった状態から作るのだという。途中で干切れたらまた一から作り直す。井上さんも作る過程でいつ干切れてしまわないかドキドキしていたという。

もう一つの赤い連鶴は「矢羽根」という作品で、キレイな円を描くように繋がっている。連鶴を作り出したきっかけは家で母とテレビを見ていた際に連鶴の特集があり、母に「あなたは器用だからできるんじゃない?」と言われたことが始まりのこと。

今後は横に繋がっているのではなく、縦に繋がっている連鶴にも挑戦したいと言っていた。



矢羽根



全部でなんと64羽



上手にできました

きれいなサポートステーション

井上 果穂さん



プロのお仕事！



季節のたけのこ弁当



お弁当の盛り付け中



潮音弁当のチケット



配達の準備中



日替わり弁当完成♪

「お弁当屋潮音」がオープンして、令和3年4月で3年目を迎えた。

日替わり弁当の販売を開始した当初は30食のお弁当も売れ残ってしまう日があったが、毎月新しいメニューや、季節感を意識したメニューを取り入れた事で徐々に固定客が増え、今では100食のお弁当を完売する事が出来ている。特に季節の限定メニューは、予約分で完売してしまうほど人気が高い。

お客様の大半は固定客で、以前から「チケット制を導入して欲しい」という意見をいただいていた。

そこで、令和3年5月から10枚綴り3800円と、10枚綴り4300円（大盛）のチケットを販売開始した。

潮音のお弁当は400円で販売しているが、このチケットを購入していただくと20円お得に購入する事が出来る。これに多くの反響をいただき、1ヶ月で約200セットのチケットを販売する事が出来た。

チケット制を導入した事で、お客様より「お得感があり、購入しやすくなった」という好評価をいただいている。

利用者さん2名はオープン当初から携わっており、今ではご飯の計量・盛り付け・配達準備すべての業務が慣れた様子で、職員のサポートをしてくれている。今後は毎日100食のお弁当売売を目指して、たくさんの人にお弁当を買っていただけるように増産をし、南勢地区で一番有名なお弁当屋さんを目指していきたい。



利用者と共に楽しめる場を目指して

八野就労支援センター 中西 智彦

生活介護プログラムのきらきらを紹介させていただきました。きらきらでは1日のうち半日は作業、半日は日中活動を行っています。日中活動の新たな取り組みとして心身共にリラッククス効果があるヨガ講座と、学びの時間の公文式の学習をスタートしました。公文式の学習は週1回1時間行い、「自分の名前の字を書けるようになる」と「テストで100点を取ること」といった目標を持ち取り組んでいます。皆さん1時間集中して取り組み、繰り返し学習することにより名前がきれいに書けるようになったり、100点を取り喜んだりと次々と目標を達成し更に新たな目標に向かって頑張っています。そして、月2回大好評のヨガ講座は春夏秋冬の八野就労支援センターの欄で掲載しておりますので、こちらをご覧ください。

現在16名の利用者さんが在籍しておりますが、性格も違えば個性も豊かなので、それぞれに合った支援をしていくことに難しさを感じることもあります。しかし、きらきらの利用者さん達は色々な活動に対してチャレンジ精神旺盛で、様々なリアクションを取ってくれるのでとてもやりがいを感じています。また、私が企画する活動に対しても、「次はどんなことするの?」「と尋ねてきてくれるので、プレッシャーを感じつつ、楽しんで取り組める活動を考えたいと思います。

これからもきらきら利用者さんがより笑顔で1日過ごせるように、そして利用者さんの保護者様が「きらきらに来てよかった。きらきらはどんな活動でも楽しみ成長していく場だよ」と思ってもらえるよう頑張っていきます。



みんなと一緒に



きれいに咲いてね



100点だー!



教えてー



集中して勉強中

八野生活介護センター

入所 お宝ゲーム

6月27日(日)、初めての謎解きゲームが開催された。初めてのイベントに多くの利用者さんが参加された。他の利用者さんと協力して「答えはどれだ?」とそれぞれが謎解きに答え、クリアすると喜びの声が飛び交った。問題は3パターンあり、都道府県やキャラクターの名前、写真の物の名前をあてて、文字を並べるとお宝の場所がわかるゲームを行った。都道府県は即答する利用者さんもいて、簡単に解けた。

クリアするとお宝がゲットできるだけあって、みなさん真剣に取り組まれていた。「楽しかった」「またやりたい」という言葉も多く、皆さんとても楽しまれた様子だった。謎解き後は撮影をしてイベントは無事終了した。



考え中?



問題を発見!



キーワードGET!

7月28日から8月6日までオリンピック行事を行った。最初の日は入所、通所合同で開会式の様子を動画鑑賞したり、ピクトグラムを見て笑っていた。オリンピックイベントとして、砲丸投げやストラックアウトを実施した。砲丸投げは、ビニール袋にボールを入れただけ遠く投げられたかを競い合った。投げる力が強い方は壁まで投げる方がいた。ストラックアウトの始球式は田辺施設長が行い、遠くから投げたため、的に当たらなかったことに皆さん笑っていた。利用者さんはコントロールが良かったので満点が多かった。

通所 オリンピックイベント

7月28日から8月6日までオリンピック行事を行った。

最初の日は入所、通所合同で開会式の様子を動画鑑賞したり、ピクトグラムを見て笑っていた。オリンピックイベントとして、砲丸投げやストラックアウトを実施した。砲丸投げは、ビニール袋にボールを入れただけ遠く投げられたかを競い合った。投げる力が強い方は壁まで投げる方がいた。

ストラックアウトの始球式は田辺施設長が行い、遠くから投げたため、的に当たらなかったことに皆さん笑っていた。利用者さんはコントロールが良かったので満点が多かった。

投げる種目なので、タイミングを見計らい投げる方が多く、時間をかけていた。

他にはピクトグラム問題やオリンピックピックの問題をとき正解者の方に景品をプレゼントし、喜んでいました。



オリンピックTシャツGET



砲丸投げ



ストラックアウト中

放課後等デイサービスURAURA

放課後等デイサービスURAURA八野

URAURA 夏休み

夏のイベントで「スライム作り」、「ボールすくい」、「お化け屋敷」、「スイカ割り」等の夏ならではの様々な活動を行った。

8月7日(土)、お化け屋敷ではスヌーズレンルームを真っ黒にしてみんなで作ったお墓やおバケ、火の玉のある中、箱に入っているお土産をとってくるといふミッションを頑張つてクリア！年齢が上がるにつれて「怖い」という感覚も高まるようで、小学生の子ども達は意外にもスタスタと中に入っていく、高校生は「ムリムリ」と入り口で止まってしまうたり、中に入っても又出てきてしまったり：キヤーカー叫ぶ声がURAURAに響き渡っていた。

8月10日(火)には、田辺施設長の運転でマイクロバスに乗り、河芸マリーナへ出かけた。クルーザーを見たり、展望台に上がり鐘をならして、夕々の外出を楽しんだ。帰りの会で「今日はどこに行ったの?」と質問をすると「ハワイー!!」とこたえる子どももいた程南国気分を味わえたようだ。

これらの活動が子どもたちにとって楽しい夏休みの思い出の一つになつてくれたらいいと思う。



マリーナ河芸で撮影



潮風に吹かれて



お化け屋敷

放課後等デイサービスURAURA稲生

青山高原で風車を展望

8月4日(水)に、津市にある青山高原を訪れ、風力発電用の壮大な風車を展望してきた。

「ゴゴ」と音を立ててゆっくり回るたくさんの大きな風車を、津市内を一望できる展望台から眺めた。お昼は広々とした高原にあるベンチで頂き、食後は高原の新鮮な空気の中で、散策したり走ったりと体を動かしてリフレッシュした。道中では、普段乗らない大きなマイクロバスから眺める景色を楽しみ、往復で2時間ほどのドライブとなった。

本来ならその日は、宮妻峽へ水遊びに行く予定をしていたが、前日までの降雨で川の水量は普段より多く、流れも速いとのことに変更になった。次回は宮妻峽に是非、出かけたと思う。



結構、近くで展望できた



木陰のベンチでランチタイム



駆けっこも楽しんだ



広大な高原を散策中

八野就労支援センター

クラブ活動

毎月、土曜日に1回開催されるクラブ活動。買い物、公共交通機関の利用、マナーなど生活に関する事を学習する「生活クラブ」室内外の運動に取り組みながら、仲間との協調性を養うことを目指す「運動クラブ」テーマを決め、映画や動画鑑賞を楽しむ「映画クラブ」3つのクラブに分かれて取り組んでいる。個々に目的意識を持たれ、日常とは異なる真剣な表情や笑顔が多く見られる。たくさんの方の利用者さんに参加していただき、充実した時間を過ごしている。

健康なからだづくり



運動:ストレッチ



運動:車いすポッチャ



生活:プリント学習



生活:買い物体験



3クラブの部長です



映画:たくさん観ます



ストレッチからはじめます



まずは簡単なポーズから



英雄のポーズ



キャット&ドッグ



しっかり伸ばして...

生活介護プログラムでは、ヨガの時間がある。ヨガインストラクターを講師に招いた本格的な活動となる。ヨガは深呼吸と全身を使ってポーズをとる身体技法である。利用者さんも職員も、はじめて体験する方が多く、簡単なポーズから取り組んでいる。日常生活では、あまり意識をしない身体の内側や感覚に意識を向け、ゆっくりリラックスした時間が流れる。これからも爽やかな汗をかき、心と身体が健康になるためのからだづくりを行う。

きれいサポートステーション

サポート塾

毎月1回土曜日に生活班と学習班に分かれて取り組んでいるサポート塾で、8月に中間テストを実施した。生活班は調理の器具名や交通ルールの問題を、学習班は算数や漢字など各々の課題に沿った問題を解いた。テストに取り組む姿は集中している様子が多く見られ、生活班はその日の内に皆で一緒に答え合わせもした。テストという目標を掲げることにより意識を高め、さらに努力することに繋がると思う。年度末にも期末テストを行う予定だ。



答え、あつてる？



集中！集中！



難しい…



テスト中

真夏の楽しいひととき

真夏でも真冬でも毎日除草作業や不要品回収をしているまかせ太の利用者さんたち。暑い工場内でクリーニング作業をしている利用者さんたち。そんな彼らを労い、今回は作業の合間にいなべ市の中部公園に皆で出掛けた。日光が気持ちいい晴れの日にも、人も少なく広々とした公園内で思いっきり羽を伸ばして一日遊んだ。飛んでくるフリスビーを必死で追いかけて、それに一喜一憂する人もいれば、木陰でゆっくりと寝そべっている人もおり、それぞれの楽しみ方があって良かった。またこのような機会を作り、作業への励みにしようと思つて皆で話した。



ヤマシタでのタオル折り



草刈り機で除草中



除草剤を噴霧



並んで！並んで！



来い！フリスビー



木陰でゆったり

南勢就労支援センター

グッドアンドニュー

今年度、南勢では「グッドアンドニュー」という活動を開始した。「良かった事」や「新しい発見」を発表し、発表者以外は拍手をするというチームを活性化することを目的とした取り組みだ。

良い事を考える習慣が生まれ、雰囲気明るくなると言われており、海外では朝礼等に取り入れる企業や、メンタルケアを目的に取り入れる医療施設が増えている。

南勢では週に1回ずつ、利用者さんに発表をしていただいている。

最初は「良い事も新しい発見もなかった」と言っていた利用者さんも、続けていくと「晩ご飯が美味しかった」や「新しい靴を買った」等、話す内容に変化がみられるようになった。

これからもグッドアンドニュー活動を通じて、一人一人の自己承認力の向上に努め、明るい施設を目指していきたい。



入力を利用者さんのお仕事です



グッドアンドニュー発表中

カラフルな傘が発表を彩るアンブレラスカイはご存じだろうか？
新型コロナウイルスの影響により、外出の自粛や様々なイベントが中止になっている。
そんな中、南勢では宮の里と南勢の間にアンブレラスカイの展示をした。
利用者さんにデコレーションして頂いたビニール傘を、職員がサプライズで設置。笑顔いっぱい記念撮影が出来た。
梅雨の時期のみの展示となったが、アンブレラスカイで憂鬱な雨の日も楽しむことが出来た。



みんなで記念撮影



晴れの日も綺麗でした



アンブレラスカイ

南勢アンブレラスカイプロジェクト

第2南勢就労支援センター

ピクトグラム 大集合

今夏、東京2020オリンピックが開催された。ソフトボールや卓球など、様々な競技で日本中が感動に包まれる中、第2南勢で一番盛り上がったのが・・・開会式で話題になったピクトグラム！文字による文章で表現する代わりに、視覚的な図で表現することで、言語に制約されずに内容の伝達を直感的に行う目的で使用されてきたピクトグラムを自分の体で表現！

オリンピックで使用されるピクトグラムのポーズ撮影を利用者さん終始ノリノリで行った。

競技以外にもオリンピックを満喫した夏だった。



ピクトグラム大集合

小さな瓶に詰められた 大きな魅力

新聞社から取材を受ける。著名人でもない限り、生きていく中でそんなことがあるものではない。株式会社川原製茶の協力で出来上がったほうじ茶ジャム。

記者が召し上がり、その美味しさに感動する。その感動を胸に取材の機会を頂いた。

毎日新聞社、いせ毎日の記者久世氏に自分たちが作ったジャムの美味しさやその良さを伝えるために一生懸命説明をする。

そんな経験ができるのもジャム作りの魅力である。



小さな社会参加

宮の里ミタスメモリアルホーム

オリンピック応援グッズ作成

7月23日から8月8日までのオリンピックに向けて通所では、オリンピック応援グッズを作成する創作活動を行った。黒や白の大きい団扇に思い思いのメッセージを書き込み、

メダル獲得の願いを込めて作成した。

その効果もあってか東京2020オリンピックでの日本メダル獲得数は金27個、銀14個、銅17個。合計で58個と歴代のオリンピック総メダル獲得数において1位の結果を残すことが出来た。

家族様や利用者さんの中で記憶に残った場面はどの場面だろうか？



みんな頑張って書いています！



選手のみながんばれー！



素敵な団扇が出来ました。



この団扇で応援して金メダル間違いなし！



オリンピック頑張って応援します！



なに書こうかなあ？

7月15日(木)に夏祭りを行った。『炭坑節』の曲に合わせて盆踊りを踊ったり、スイカ割りを楽しみました。スイカ割りでは紙でできたスイカの風船を棒で叩き割って中に入っている紙を取ってもらった。紙には当たりはずれがあり、当たった利用者さんはとても喜ばれていた。スイカ割りの後は各チームのリーダー4名でアイスをつけて『叩いてかぶってジャンケンポン』を行った。白熱した試合で大盛り上がりだった。最後にサーティーワンアイスクリームを食べて今年の夏祭りはおひらきとなった。

夏祭り



やった！課長と散歩だ！



どの映画にしようかな。



えいっ！



おりゃー！



めっちゃおいしいー！



わー、おいそー！

二見生活介護支援センター潮音

夏祭り

7月31日(土)、夏祭りを行った。午前中は屋台コーナーを楽しみました。その中の飲食コーナーでは、どきどきされながら自分で受けたソフトクリームを嬉しそうに食べておられた。チョコのベビーカーも好評だった。人気のヨーヨー釣り、ひも釣りでは、大きな景品に歓声があがっていた。今年、新しく射的のコーナーを設けた。「当たったよ！」と真剣な表情の後に満面の笑みだった。

午後からはビンゴゲーム、潮音物語を観ながら喫茶を楽しまれた。潮音物語は昨年の夏祭りから1年を写真で振り返った。大画面にご自分の姿を見つければ、大盛り上がりだった。



アイスが出てきた～



新コーナーです！



どの的にしようかなあ～



はい、みなさん 笑顔で！



当たるかな～

読み聞かせ

潮音では、ボランティアさんによる絵本の読み聞かせの活動がある。毎月、西 眞知子さんに来て頂いている。

日本昔話から西洋の話と、いろいろな絵本を題材に5～6話の話をして頂く。大きなスケッチブックに、手描きによる温かい素敵な挿絵が描かれており、人物の表情も豊かである。話も集中して聴かれているが、絵も楽しみの一つだ。簡単な手遊び歌や体操も取り入れて頂く事もある。

活動の終わりに、「振り返りの時間がある。どのお話がすきでしたか？」と優しい声でコミュニケーションをとられている。初めは恥ずかしそうにされていた利用者さんも今ではお話されている。来月はどんな話が飛び出すか待ち遠しい。



どのお話がすきでしたか？



次のお話しです！



みなさん、真剣です！



では、はじめます！

津会館内展示スペース リニューアル

津会館ロビー展示スペースをリニューアルした。

ウエス・ジヤム・コットンフラワー・会葬返礼品ほか利用者さんがご親族の皆さまに快適にお過ごしいただくためにお掃除している写真など紹介している。

利用者さん手作りのコットンフラワーはお通夜へのご参列が叶わない方に代わり心のこもったお花で故人様をお送りしている。



コットンフラワー



展示スペース

全国へ届け

八野就労支援センター

私たちが生産販売する不織布ウエスをたくさんの方に知って欲しいとの思いから、ラジオ放送のプレゼント企画に挑戦。今回プレゼントした商品は「きれいちゃん」持ち運びやすいスライダールーチの中にな小さな不織布が入っている。手を洗う事が増えた昨今、使い捨てのポケットハンカチとして使用することを勧め。他にもアルコールを噴霧して消毒や、ティッシュの代わりなど多用途に使用可能である。

また、企業の皆さまには、オリジナルパッケージを作成し、ノベルティ商品としても活用していただきたい。今回のプレゼントを通じ、全国の皆さまに「きれいちゃん」を手を知って欲しい。



発送準備

ポケット不織布ハンカチ きれいちゃん

オススメポイント

①使い捨てハンカチ

使用したハンカチは細菌が繁殖しやまず...

清潔

②拭き取り

ちょっとした汚れを拭いて

ポケットティッシュのように使用できます

③アルコール消毒

アルコールをかけて拭き取り

安心除菌!

④ポケットサイズ

持ち運びに便利!

きれいちゃんはここが違う!

- ◆安心の日本製
- ◆丈夫で破れにくい
- ◆ドライでも水に濡らしてもOK

- ◆多用途でご使用できる
- ◆5回分詰め替え付き

他にもいろいろな不織布の商品を販売しています

伊勢亀鈴会 八野就労支援センター
発売元 ☎0800-200-6612

八野就労支援センター

経営企画本部



櫻井 電也



おにぎり屋
佐藤 紀代香



営業担当
下村 知里



営業担当
和田 翔太

二見生活介護支援センター潮音



細川 雄平

※掲載中の写真におけるマスクの取り外しについて

各施設とも感染症対策のため、マスク着用は徹底しておりますが、一部の記事ではマスクをしていると表現が伝わらない部分もありましたので、マスクを外して撮影させていただきました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

八野生活介護センターの小林と申します。138号の編集長を務めさせていただきました。

初めての編集長のため少し慌ただしく、出来た記事です。ぜひ一つ一つの記事に込められた思いを読んでもらえたらと思います。作成にあたり多くの方へのご協力に対してこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

小林

ご寄付をいただきました。
ありがとうございました。

伊勢亀鈴会 法人本部 2021.6月1日~2021.9月15日

桜友の会様

米川 正秀様

西田 繁男様

八野生活介護元利用者様(故人)ご家族

宮の里退所利用者様ご家族

福祉葬祭三重 2021.6月1日~2021.9月15日

浄運寺様

円光寺様

地福寺様

一心寺様

ボランティアさん募集!!

八野生活介護センターと宮の里ミタスマモリアルホーム、二見生活介護支援センター潮音では、昼間ボランティアさんの趣味・特技を活かし利用者さんと一緒に活動していただける方を探しています。

現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいておりますが、利用者さんと娯楽(卓上ゲーム等)園芸・話し相手など気楽に接していただける方も募集しております。

ご希望の方は、ぜひ一度各施設までお問い合わせください。

問い合わせ

八野生活介護センター 担当:中野 TEL059-378-8881

宮の里ミタスマモリアルホーム 担当:加藤 TEL0596-58-5030

二見生活介護支援センター潮音 担当:岡島 TEL0596-72-8822

きれい通信 **ちょっと寄り道!!**



埋もれた「列車銃撃」
 74年後の記念碑

三重県亀山市
戦争の歴史



亀山での太平洋戦争の被害についてを知っている人は少ないと思います。つい最近亀山で太平洋戦争の被害の一つ「列車銃撃」についてを調査し、亀山の中村公民館前に記念碑を立てたのをご存知ですか？

記念碑には蒸気機関車の画像を背景に調査の結果が記されています。終戦から長い年月がたち、人々の記憶から忘れかけた時、調査をした方がいました。

時間が立ちすぎ批判を受けることがあったそうですが、10年近く目撃者や被害に合った方々30人余りの証言を集めたそうです。

Access

〒510-0142 三重県亀山市天神二丁目7-15
 中村公民館前

歴史に埋もれつつあった記憶を呼び戻し、地域の記憶に留めることが出来た歴史の一つです。



指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
八野生活介護センター

指定放課後等デイサービス事業所
URAURA八野
 〒513-0837 鈴鹿市八野町428番地の1
 TEL059-378-8881代 FAX059-379-3223
 e-mail hachino@kirei.or.jp

指定放課後等デイサービス事業所
URAURA稲生
 〒510-0205 鈴鹿市稲生4丁目19-6
 TEL059-392-5130代 FAX059-392-5131

指定就労継続支援事業所・指定生活介護事業所
八野就労支援センター
 〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
 TEL059-378-6622代 FAX059-378-5335
 e-mail hachino2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
福祉の森の家 体いいおにぎり屋
 〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
 TEL059-380-6355 FAX059-367-7377

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい
 〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
 TEL059-388-1508 FAX059-388-1508

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 空羅多ガーデン (Gたがーた)
 〒513-0207 鈴鹿市稲生塩屋2丁目1番5号
 TEL059-388-1882 FAX059-388-1882

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 亀山 栗の木ヴィレッジ
 (第1) 〒519-0166 亀山市布気町1446-2
 TEL0595-96-8182 FAX 0595-96-8182
 (第2) 〒519-0166 亀山市布気町1446
 TEL0595-96-8183 FAX 0595-96-8183

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 御糸の社 (みいとのもり)
 〒515-0354 多気郡明和町行部131
 TEL0596-55-6800 FAX 0596-55-6800

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい みや川
 〒519-0504 伊勢市小俣町宮前31-2
 TEL0596-20-8530 FAX0596-20-8531

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所・指定就労定着支援事業所
きれいサポートステーション
 〒510-0236 鈴鹿市中江島町7-21
 TEL059-388-0864 FAX059-367-7911

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業所
きれいライフステーション
 〒510-0236 鈴鹿市中江島町7-21
 TEL059-340-7997 FAX059-367-7050

指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
宮の里ミタスメリアルホーム
 〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
 TEL0596-58-5030 FAX0596-58-5033
 e-mail miyanosato@kirei.or.jp

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業
宮の里ライフステーション
 〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
 TEL0596-58-8588 FAX0596-58-5033

指定生活介護事業所・指定短期入所
二見生活介護支援センター 潮音 (しおね)
 〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
 TEL0596-72-8822 FAX0596-72-8823

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所
 指定就労定着支援事業所・指定生活介護支援事業所
南勢就労支援センター
 〒519-0427 度会郡玉城町宮古字鉄砲塚728番地の18
 TEL0596-58-0101代 FAX0596-58-6742
 e-mail nansei@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
お弁当屋 潮音 (しおね)
 〒516-0609 伊勢市二見町茶屋310
 (二見生活介護支援センター潮音内)
 TEL0596-72-8808 FAX0596-72-8817
 e-mail obentoya-shione@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
第2南勢就労支援センター
 〒515-0347 多気郡明和町志貴里中1134-3
 TEL0596-55-6711代 FAX0596-55-3535
 e-mail nansei2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 白子
 〒510-0236 鈴鹿市中江島町14-12
 TEL059-380-1711 FAX059-380-1712

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 鈴鹿南
 〒510-0253 鈴鹿市寺家町1247-1
 TEL059-380-1717 FAX059-380-1720

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 津
 〒514-0014 津市港町18-12
 TEL059-213-1717 FAX059-213-1771

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重 福祉会館 伊勢
 〒516-0013 伊勢市鹿海町656-1
 TEL0596-26-3170 FAX0596-26-3025

社会的事業所
まかせ太君 (鈴鹿)
 〒513-0836 鈴鹿市国府町字高畔3917-272
 TEL059-370-8118 FAX059-370-8119

社会的事業所
まかせ太君 (伊勢)
 〒519-0504 伊勢市小俣町宮前741
 TEL0596-63-5450 FAX0596-63-5451